



四国四県のシニアの子育て支援事例

| 徳島県 | シニア子育てサポーター支援事業

1. シニア向け子育て支援プログラム

徳島県では、地域の元気な高齢者が、気軽に子育て支援に関わるようになるように、平成26年度NPO、行政、高等教育機関が連携し、地域の実情に応じた「シニア向け子育て支援プログラム」を作成しました。「子どもの育ちを考える学びプログラム」「子どもと高齢者が一緒に遊べるプログラム」「子どもと食育について考えるプログラム」「子どもの安全安心について考えるプログラム」の4つから成り立っています。

内容については、「とくしまはぐくみネット」内で閲覧できますので、子育て支援に興味のあるシニアの方は、是非ご覧ください。



「とくしまはぐくみネット」 ▶ <http://tokushima-hagukumi.net/>

2. シニア子育て養成講座

子育て支援初心者のシニア世代に向け、「現代の子どもや親について」「昔との子育ての違い」「子どもと交流する際の注意点」などの基本的な内容から、「シニア向け子育て支援プログラム」を使った講座内容まで、受講者の知識や経験に応じた内容の講座を7日間開催しました。

修了者の中には、子育て支援団体でのボランティア活動を行ったり、自らが所属するシニアのボランティア団体で、子育て支援活動をはじめた方もいらっしゃいます。



3. シニア向け子育て支援プログラムの実践と普及

県老人クラブ連合会と連携し、作成した「シニア向け子育て支援プログラム」を基にした研修会を県下3カ所で所属会員を対象に実施し、そのプログラムの内容を使って、県内各地域で子育て支援を実践してもらいました。

老人クラブに所属している皆さん、各地域の子どもたちとの交流を深め、活動の場を広げることができました。



4. シニア子育て支援モデル事業

シニア世代が所属する団体等を対象に、地域資源を活かした子育て支援や多世代交流など、他の地域のモデルとなる特色ある事業を募集し、6団体が実施しました。

各団体とも、地域の絵本作家の方のアトリエで、子どもたちと一緒に工作や絵を描いたり、地域のシニアの方々と門松や地元の伝統料理を一緒に作ったり、子どもたちとの交流を楽しみながら工夫を凝らした子育て支援を実践しています。

シニアの方々が親子を優しく見守ることができるのは、いろいろな経験の積み重ねから生まれてくる寛容さと、親子の笑顔と接する喜びがあるからなのかもしれません。

「私たちは、子どもや母親と接することで元気をもらっている。だから、やめられない。」という子育て支援をしているシニアの方の言葉がとても印象的でした。

今、シニアによる子育て支援の団体等が少しずつ増えてきて、様々な形で地域に根ざした子育て支援を実践しようと試行錯誤が行われてきています。



香川県 かがわ子育て大学

子育てに不安を抱える保護者のために子育ての正しい知識や情報を提供し、不安を解消とともに、時代を担う子どもたちを安心して生み、健やかに育てる事ができる環境を整える事を目的とし、子育て支援事業の一つとして、平成27年度に実施しました。

講座は、

- 「プレパパ・ママ学科」… 対象：結婚や妊娠・出産を検討中の夫婦・カップル他
- 「ギャングエイジ学科」… 対象：これから思春期を迎える小中学生の保護者等
- 「チャレンジ学科」… 対象：発達障がい児を持つ保護者または支援者
- 「三世代交流学科」… 対象：祖父母世代・子育て世代の保護者・子ども

の4つの学科に分かれ、平成27年10月18日から平成28年2月11日までの合計12回、県内にて順次講座を開催しました。

「三世代交流学科」では、

- ・今どきの子育て事情について
- ・おじいちゃん・おばあちゃんをもっと頼ろう
- ・交流会(伝承遊び等)

を県内3カ所で開催しました。



具体的には、

「親子三世代で集まろう！」～みんなで元気に！体操タイム!!～

第1回

講座内容

布やひもを使っての体あそびと体操を実施。体操の後は、昔遊び(お手玉、折り紙、磁石を使った魚釣り)などを屋台形式で開催し、三世代が交流しました。

三世代ふれあい「感覚運動遊びで育むカラダ・アタマ・やりとり」

第2回

講座内容

親世代、祖父母世代が無理なく体を使って、子や孫と遊べる運動を紹介しながら実践形式で開催しました。

三世代で楽しむクリスマスパーティ

第3回

講座内容

三世代そろってマジック講座、手遊び、新聞を使った遊びを体験し、三世代が交流しました。



「三世代交流学科」の具体的な活動ですが、今回は、香川県内各地域の母子愛育会と連携した取り組みを行いました。

母子愛育会は、市町などの行政とともに各地域に応じた母子の健康と福祉に関する様々な活動を行っています。

香川県の西部にある観音寺市では、12月にプレイジム代表 姫路獨協大学客員教授 太田篤志先生をお招きし、子育て中の親子を中心に地域の自治会連合会や老人クラブ連合会の方々も参加して、子ども達と一緒に物づくりや身体を使った遊びをしました。

シニアの方々の中には小さい子どもさんと関わる機会があまりない方もいて、なかなか自分から関わりが持てない方もいましたが、主催者側の積極的な関わりにより、お互いに初対面でも、一緒に体操をしたり、楽しむことができました。特に兄弟を連れて参加している親子は、シニアの方々が親に代わって子ども達と遊んで下さったことで、保護者自身もゆっくりと子どもと関わることができて、とても楽しそうでした。

シニアの方々も、地域の子ども達と関わることで表情が活き活きし、その後も大きな声で話しかけるなど、地域の親子をみんなで見守っていきたいという思いが伝わってきました。

このように、子育て支援は、行政だけではできないので、皆さんのような地域のシニアの方々の力が必要です。自分が住んでいる地域の状況を知り、何ができるか一緒に考えることから始めてみませんか。



愛媛県 | 高齢者による 愛顔（えがお）の子育て環境づくり推進事業

平成24～26年度の3年間、高齢者の豊富な経験・知識を積極的に活かした子育て支援の普及・定着を目指し、市町や関係団体等を巻き込んだ全県的な啓発活動を展開するとともに、地域特性等を踏まえた具体的モデルの開発を行いました。

啓発事業

●三世代交流イベントの実施

- 遊びを通じて子どもと高齢者が親密さを涵養できる機会の提供
- お互いが（被）支援者であるという理解を深めるための、親・高齢者双方に向けたセミナーの開催

などを内容とする三世代交流イベントを、県内3か所において開催しました。



●シニアと子育て家庭「愛顔」の橋渡し県民運動推進セミナー

事業の啓発と機運醸成を図る機関として、県・市町・関係団体で構成する「シニアと子育て家庭『愛顔』の橋渡し県民運動推進会議」を設立し、最終年度となる平成26年度には、セミナーを開催し、県内各市町等へ委託して実施した事業の成果発表や全国の優れた先進事例の紹介などを行い、県内各地域への取組みの普及・定着を図りました。



先導的事業

地域の実情に合った高齢者による子育て環境づくりを進めるため、県内7つの市町と3つの児童入所施設へ地域特性等を踏まえた具体的モデルの開発を委託しました。

このうち、松山市では、地域の伝統料理を伝えることができる高齢者の知識を活用して、地域の子育て親子と「食」を通した交流事業を実施し、高齢者の生きがいづくりと子どもの健全育成など、子育て家庭を支援する新たな交流モデルを開発し、現在も継続して実施していますが、当該事業は、料理教室を通じて地域のコミュニティの強化にも寄与しています。



また、児童入所施設の日野学園（松山市）やあすなろ学園（今治市）では、農業体験や美術指導の経験を持つ高齢者と入所児童とが、農耕交流や絵画制作・造形活動などを通じて相互の関わりを深めていくモデルを開発し、事業の実施により、児童の自立支援の促進や豊かな人間性の形成に繋がるなどの成果をあげており、現在も継続して事業を実施しています。



モデル事業の開発に携わった市町や児童入所施設の中には、紹介した松山市の日野学園のように継続して事業を実施しているところもあります。愛媛県では、地域の子育て支援の現場に、豊富な経験等をお持ちの高齢者の力を借りることによって、地域の絆・家族の絆を結び直し、地域における子育て環境の充実・強化を目指していきたいと考えています。

高知県

● あつたかふれあいセンター

子どもから高齢者まで、年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが気軽に集い、必要なサービスを受けることができる拠点を整備し、地域福祉活動を推進するため、「あつたかふれあいセンター事業」を市町村が実施しています。あつたかふれあいセンターは、放課後児童クラブ（学童保育）を利用していない小学生や、放課後や長期休暇中の子どもの居場所となるなど、子どもの見守りや子育て支援にも取り組んでいます。

土佐町の事例

地域の方々の話し合いと協力のもと、夏休みプロジェクトなどは、小学生から大学生の参加をはじめ、親子三世代といった多くの方がふれ合いながら賑わっています。

大月町の事例

民生委員さんの手作り教室、笑顔いっぱい、お腹もいっぱいの子育てサロンや、地域のお年寄りから子ども達へ昔遊びの伝承を通じた異世代交流や地域をつなぐ拠点として活動しています。

● ファミリー・サポート・センター事業

ファミリー・サポート・センターとは、子育ての手助けをしてほしい方（依頼会員）と、手助けを行いたい有償ボランティア（提供会員）とがそれぞれ会員登録し、子育てを助け合う仕組みです。

高知県では、平成28年度より、新たにセンターを開設する市町村への支援や提供会員になるための研修の実施など、大幅に取り組みを充実して、県内全域での普及を目指しています。（現在、県内では、高知市と佐川町の2市町で開設されています。）

「子育ての経験を活かしたい」「空いた時間的有效に活用したい」といった方は、ぜひ、提供会員となって、地域による子育ての支え合いにご協力ください。

● 学び場人材バンク

高知県では、放課後児童クラブ（学童保育）や放課後子ども教室などの学習や体験活動を充実するために、活動にご協力いただける人材を発掘・登録し、市町村等に情報提供を行う「学び場人材バンク」を、NPO法人高知県生涯学習支援センターに設置しています。

大学生からシニアの方々まで様々な方が登録し、放課後の活動や出前講座などにご協力いただいており、平成28年度からは、学校支援地域本部を設置する学校での様々な活動にも、人材を紹介することとしています。

登録分野 の一例

- ・予習や復習、補習等の学習支援
- ・伝統遊びの指導（お手玉、けん玉、かるた、折り紙など）
- ・田植え、畑作り、林業、漁業などの体験学習
- など

● 自主活動組織（サークル・団体・ボランティア等）

ここでは、高知県内で子ども達の見守りや子ども達とかかわりのある活動を行っている2つの団体を紹介します。※情報提供 高知県社会福祉協議会(高知いきがいネット)

シルバー子ども見守り隊

高知市シルバー人材センターの会員が、ローテーションを組み、児童の下校時に通学路や公園周辺で子ども達の安全の見守り活動を行い、地域の小学校との交流や子ども達とのふれあい(声掛けなど)を続けています。

会員数：約100名(見守り隊登録会員)
年齢層：60歳～80歳
入会資格：高知市シルバー人材センター登録会員
活動地域：高知市内の各小学校区



香北町手づくり絵本サークル（人形劇団とんとんびょうし）

「世界に1冊しかない絵本をつくろう」と結成し、絵本や紙芝居、人形やクラフト作品などの手づくりの温もりを伝える作品づくりを行いながら、県下の保育園、小学校、公民館などで人形劇や紙芝居などの公演活動を行っています。

会員数：7名(男3名、女4名)
年齢層：約50歳～70歳
入会資格：手づくりの作品づくりが好きな方、
子どもたちの笑顔が好きな方
活動地域：香美市内



「子どもたちの
笑顔」を
エネルギーに楽しく
活動しています。